

学校保健

THE SCHOOL HEALTH No.208

(財)日本学校保健会

生涯にわたり心豊かで
たくましく生きぬく子どもの育成
—のぞましいライフスタイルの
確立をめざして—
第45回全国学校保健研究大会の主題
(平成7年度・徳島県)



健康の自己管理

児童生徒の健康状態

サーベイランス委員会 委員長 平山宗宏
日本総合愛育研究所所長

学校保健、あるいは健康教育の大きな目的の一つが、自分の健康を自分で守る能力、つまり健康の自己管理能力を身につけることにあるのは申すまでもありません。しかし最近の子どもの健康問題には、子ども自身の能力や心構えだけでは守りきれない部分があり、例えば災害や社会的変化や環境問題などがあげられます。とくに重大な出来事としては阪神の大震災があり、文部省では長期にわたる児童生徒の心の問題について調査と支援を開始したところですし、また、まったく異常で異質な事件としてはオウム真理教によって社会から隔離された子どもの社会復帰の問題があり、これも深刻な心身の障害問題です。

このような特別な状況は別にしても、最近の子どもをめぐる社会環境が関わる健康問題には、食生活と運動などの生活スタイル、それに未解明の因子も関わっているであろう成人病やアレルギー性疾患の増加とその予防があげられます。本会の児童生徒の健康サーベイランス委員会は3年間の研究成果をとりまとめて総括報告を出すことになっています。現実のライフスタイルをより望ましい方向に修正しながら、かつ子どもたち自身の理解と努力で健康を守っていけるようにすることが、学校保健関係者の努めだと考えます。

学校保健募金活動を継続

平成5年8月3日付で日本学校保健会が特定公益増進法人の認可を受けた募金活動は、平成7年7月末日で期限がきたが、8月3日付で再び認可があり、ひきつづいて募金活動を行っていくこととな



りました。
目標額達成まで
関係各方面の
一層のご協力を
お願いたします。

目 次

学校保健計画・	実践上の注意…2
生徒理解のための研修会…3	
Q & A	
ライフスタイル、 評価と視点…4	
北から南から	…5
いじめ問題対策	
情報センター…6	
学校保健会だより	…7
「学校保健募金」	
協賛者ご芳名…8～11	

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

学校保健計画、実践に当たり注意すべきこと、多くの情報の取捨選択について

児童生徒の健康状態サーベイランス委員会

リスクファクター小委員会 委員長 堀 薫

前新潟大学医学部小児科 教授

1. いわゆる小児に潜むする成人病について

社会環境の進展に伴ない、子どもの生活様式や食生活が徐々に変り、それに対応した健康管理が重視されるようになった。日本学校保健会では児童・生徒の健康状態を概括するため、平成3年度末から子どもの健康状態のサーベイランス事業を始めた。既に20~30年前から成人病（動脈硬化症、高血圧、虚血性心疾患、糖尿病など）の萌芽が小児期から始まっている。予防医学的見地から、その対策を真剣に考えるべきことが指摘されている。

動脈硬化は現代医学では治すことは出来ない。それは高脂血症、糖尿病、高血圧が原因で発生・進行する。それで食生活の面から事前の予防策を考える必要がある。

本サーベイランス事業委員会は、既に全国各地でこれら病気の早期発見の検査を実施している学校を定点として、その協力を得、また現地医師会の協力を得て、全国的規模でデーターを集計し、小児期の成人病症状の早期発見をする一方、子どものライフスタイルとの相関を求めて、病状が固定する前にこれを防止し、健康を維持することを目標にスタートした。

当初2年間は全体像を把握し、次に子どもの生活像と危険因子の相関を求め、改善策を考えることとした。実施に際し、① 本サーベイランス事業の趣旨を解り易く整理して、家族の理解を得る。② 地元医師会の協力の下に行う。それは、成人病という生涯に亘る健康障害を、今、何故、学校が乗り出さなければならないのかの疑問を解くために重要なことである。病状を早期発見し、地元医師による管理が行われる一方、本症は食生活に原因があるので家庭生活、学校生活を通じて改善していくことは教育上大切なことであるからである。③ 個人の病像を発見することも大切であるが、学校健診は生徒に病識を与え、児童特別扱いすることは極力避けなければならない。好ましい生活条件を、教育の一環としてアドバイスすることに力を入れる等々は大切なことである。

2. 肥満の考え方

次に学校で実践すべき要点として、身長、体重から肥満を算出するのに、次の4通りの計算法がある。

① Body Mass Index(BMI) :

$$[(\text{体重}) / (\text{身長})^2] \times 10^4$$

② Rohrer 指数 : $[(\text{体重}) / (\text{身長})^3] \times 10^2$

③ 肥満度 :

$$[(\text{実測体重} - \text{標準体重}) / (\text{標準体重})] \times 100 (\%)$$

④ 身長を基準にした肥満の判定 :

$$[(\text{実測体重} - \text{現在の身長に対する標準体重}) / (\text{現在の身長に対する標準体重})] \times 100$$

肥満の判定に、成人ではBMIを、学校健診ではRohrer指数を基準としている。また肥満児は一般に身長も大きいので、体重が多くても身長が大きければ肥満には見えない（低身長児は体重が少なくて肥満に見える例もある）。従って身長を加味した④の判定は合理的に思える。③、④については20%以上を肥満とするが、学童・生徒には肥満の定義が決っておらず、委員会では結論が出せず、とりあえず成人への移行を考え、BMIを採用した。

3. 高脂血症への対応

肥満には食餌、一部遺伝による単純性肥満（皮下脂肪型肥満）と成人病として意義がある腹部臓器型肥満（内臓脂肪症候群）とがある。しかし、これは管理、治療の段階で診断区別されるべきもので、また悪性化の指標として尿酸、トリグリセライド(TG)なども治療の段階で測定されるもので、スクリーニング・テストとしては不要であろう。

高脂血症を判定する場合は、総コレステロールとHDLコレステロールの測定は必要である。学術的にはLDLコレステロール、TG、リポ蛋白(Lp(a))、フィブリノーゲン、抗カルジオリビン抗体価などがよい指標になるが、それは管理・治療の場合に応用されるものであろう。糖尿病の場合のヘモグロビンA₁、1.5AG、フルクトサミンの測定は集団検査では不要である。なお、採血は空腹時採血(12時間空腹)が原則であるが、集団では食前であればよい。検尿も食前に行なう。動脈硬化指数

$[(\text{総コレステロール} - \text{HDL}) / (\text{HDL})] \times 100$
は小児では確定していない。

4. 血圧測定について

血圧測定は20分安静後、座位で測定する。室温は出来れば20°C（夏、冬とも）の環境が望ましい。自動血圧計での測定が認められているが、それがなければリバローチ型水銀血圧計で測定し、血圧帯は小学3年生以下は幅9cm、4年生以上は12cmと決められている。血圧は最高血圧と最低血圧があるが、最低血圧（拡張期血圧）が意義があるので、慎重に測定することが大切である。血圧は日常生活の或る1点を捉えて高い、低いを論ずる所に無理がある。特に季節的差異が大きいことを考慮に入れておく必要がある。

5. 貧血に注意

最後にリスクファクターは多種あり、検査は多ければよいと思われるが、必ずしもそれは妥当な方法とはいえない。また思春期の貧血がある時は、検査値に思ひぬ見逃しをしてしまうことがあるので、顔色の悪い、元気のない、疲れ易い子は別途配慮することが肝要である。

生徒理解の為の研修会 —学校から地域への広がりを求めて—

兵庫県津名郡淡路町立岩屋中学校養護教諭 岩本昌子

近年社会の仕組みや人間関係の複雑化等は、子どもたちの心身の発達に深い影を落としている。

なかでも、自殺、いじめ、不登校等は深刻な状況である。本校でも、子どもたちの抱えている悩みは複雑、多岐にわたり保健室を訪れる生徒は、毎日数十名に達し限られた時間では十分に対応出来ない状況である。悩みの内容は、友人関係、クラブ活動、家庭の悩み、授業や進路に至るまであらゆる分野にわたっている。1日に何回となく訪れる生徒のサインを見逃す事無く保健室運営をすることは、至難の技に近い。このような実態から、子どもたちの悩みを摑み支援する為に、平成4年度より精神保健研修会を実施してきた。その一端を紹介する。

1. 学校全体の取り組み

- (1) 講師招聘の研修会 2回
 - 精神科医 心理療法士
- (2) 生徒、教師、保護者、地域住民参加による パネルディスカッション 1回
- (3) 各学期末の職員会では、担任より学級の状況報告、援助が必要な生徒の状況説明をし、学校全体で取り組む為の共通理解
 - (1) については、主として養護教諭が企画立案した
 - (2) については、P T Aと学校が企画立案し地域に広報等で呼びかけた。

2. 取り組みの実際

- (1) 講師招聘の研修会では、「不登校について」の講演と事例相談
 - (2) パネルディスカッションでは、「不登校」「いじめ」「校内暴力」等、子どもたちの抱えている悩みについて、その原因を真剣に考えようと生徒、教師(養護教諭)、保護者、地域住民の代表等がそれぞれの立場から意見交換をした。
- コーディネーターは、専門家に依頼した。

3. 養護教諭の実践 (抜粋)

- (1) 研修会の企画立案
- (2) 保健室での生徒たちの相談活動
- (3) 不登校生、欠席がちの生徒の保護者との面談、家庭訪問、専門機関の紹介と受診
- (4) 保健室登校生の関わりと担任教師への理解の手立て
- (5) 各種研修会での報告会と情報の提供
- (6) 夏季休業中における地域懇談会の資料提供と説明等

4. 研修の成果と今後の課題

中学校における、研修の在り方については各担当者から提案される分野について、いかに共通課題を見つけ、より有効な研修になるかが問われている。

幸いにも不登校生や保健室登校生を見てきた教師集団には、今回の研修会は非常に有効であったと思われる。

ともすれば、教師は學習意欲や成績からの一方から子どもたちを見ることが多い。しかし、今回の研修会で子どもたちの見方や関わり方に、柔軟にしかもあらゆる方向から、生徒の僅かな変化やしぐさにもより綿密な関わりが出来るようになったこと、そして、今回の研修に全教師が参加することにより思春期の生徒の発達課題を理解し、教師自身の考え方方が幅広くなったことが大きな成果と考えられる。教師が行う教育相談や保護者の子どもに対する見方も、子どもの人権を尊重し生徒理解に繋がる方向にさらに進むものと期待している。

現在の学校は教師も生徒も、それぞれの悩みを抱えて生活していると言っても過言ではない。本校でも多忙な教師が感性を磨き、その感性で子どもたちのこころやからだの発達に援助すべく、教師自身の教育力が問われていると思われる。

今後、ケーススタディに発展するよう関係機関へも働きかけたい。

Q&A -学校保健活性化のために-

- Q 最近の児童生徒のライフスタイルを踏まえて、どのように健康教育を指導し、その評価の視点を置いたらよいか。**

A 児童生徒の健康状態サーベイランス委員会
ライフスタイル小委員会 委員 落合幹雄
埼玉県越谷市立大間野小学校長

1. 児童生徒の現状

過去2回のサーベイランス委員会の調査で、次のような傾向が指摘されている。

- (1) 生活が一層夜型になり、睡眠不足傾向も学年が上がるに伴って増えている。
- (2) 運動不足は、女子に明らかであり、帰宅後のテレビゲームなどはどの学年でも比率が高い。
- (3) 朝食を日常摂らない傾向にあるものが、中高生で約10%あり、食べ物の好き嫌いも多い。

2. 健康教育の取り組み

近年、疾病構造の変化が指摘され、個人の行動が健康問題の大きな要因になるという状況にあって、このライフスタイルの変化が、子供の健康への影響を心配する意見は多く聽かれる。しかし、改善への取り組みは、必ずしも積極的ではないように思われる。

学校における健康教育は、ここに焦点を当て子供1人1人の健康に対する意識化を図り、実践への意欲を駆り立てていく必要がある。

3. 健康教育の実践

(1) 保健学習・保健指導の充実

子供の保健に対する関心や意欲は低いと言われる。しかし、これらは、初めから存在するものではない。意欲が湧いてくるのは、教師の「発問」や「課題」が、子供たちの持っている常識や固定観念を打ち破り、今まで意識しなかつたものを発見したり、新しい疑問や課題を作り出されたときである。したがって、指導の充実のためには、授業に臨んでよい発問や課題を提示し、楽しくわかりやすい授業を行うことがポイントであり、意欲・関心は、この過程で生まれると認識することが大切である。

また、評価は、育てたい力の明確化を図り、指導の過程で学習に対する努力や意欲などを評価し、実践につなげるものとしたい。

(2) 全校で取り組む健康教育

学校の特色の一つとして、健康を柱とした活動を組織し、学校行事や日常の生活の中で、常に健康問題を意識させ、学校全体での雰囲気作りに努め、一人一人の子供たちの心に訴える活動として継続することが大切である。

(3) 家庭の健康意識の向上

組織活動としての学校保健委員会の活性化を図り、学校医や保護者とともに子供たちの健康問題を話し合い、解決の糸口を探る。また、子供を通じての啓蒙は、家庭の教育力アップに大いに力となることを認識し、親子で実践する活動を計画したり、学校だより、また、PTAなどの広報を通じて意識化を図ることを大事にしていきたい。

虎の門(31)

ポイ捨て防止条例

和歌山市は平成4年11月から日本一美しいまちづくりを目指して、いわゆる「ポイ捨て防止条例」を実施している。実施前を100として、今は30程度にごみが減っているという。それまで、ボランティア清掃している側から捨てる人が絶えず、意識改革を図るために罰則を設けた。福岡県北野町は4年、川崎市は7年7月から同様の条例を施

行している。

デズニーランドは企業戦略で徹底的に「人」が拾うのでごみはない。和歌山市は、罰則とともに市民朝5分間清掃と花一杯運動、市教委では環境美化副読本を配布して、学校教育に期待している。

最近の都会地では禁煙場所が増え、歩きながら喫煙の「吸い殻ポイ捨て」が増えた気がする。以前、

東京のM中学校では、学期に1回、PTA・町内会と協力して区域内の清掃をした。学校からも環境美化の発信をしていきたい。日本中美しくするために。

防止条例などのお問い合わせは、和歌山市役所総務部都市美化対策室

☎0734-32-0001(内)2545
(松本國夫会報編集委員)

北から南から**栃木県連合学校保健会の活動**

栃木県連合学校保健会事務局

栃木県連合学校保健会は、17地区の学校保健会(国・公・私立の小、中、高等学校)で構成され、学校保健の研究並びに普及発展を図り、児童生徒の健康増進並びに健全育成に寄与することを目的として活躍しています。

本会のいくつかの事業の中から、機関誌『学校保健』について紹介いたします。

機関誌『学校保健』は毎年発行しており、これまでに140号が発行されております。

編集は、17地区学校保健会から推薦された編集委員によって行われます。先ず、内容については、各号それぞれの時代の学校保健の課題や会員のニーズに沿って主題を設定し、それに即した主張、学校での実践事例、専門医等の意見や医学的知識など、と『学校めぐり』です。この『学校めぐり』は、県内で特色ある活動をしている学校やこれまでに健康推進学校として県一位で表彰された学校を紹介するものです。

執筆者は、校長、教頭、保健主事、教諭(学級担任)、養護教諭や医師等の専門家等と多岐にわたっております。

最近の主題は次のとおりです。

- 129号『子どもの心と性の悩みにどう応えるか』
 - 130号 " "
 - 131号『新学習指導要領における保健・安全指導』
 - 132号 " "
 - 133号『生涯の健康を目指す基礎づくり』
一性に関する指導を通して一
 - 134号『生涯の健康を目指す基礎づくり』
 - 135号『生涯の健康を目指す基礎づくり』
一子どもを取りまく生活環境I一
 - 136号『生涯の健康を目指す基礎づくり』
一子どもを取りまく生活環境II一
 - 137号『生涯の健康を目指す基礎づくり』
 - 138号『生涯の健康を目指す基礎づくり』
一私にもできるエイズ指導一
 - 139号『生涯の健康を目指す基礎づくり』
一学級担任の行うエイズ指導一
 - 140号『生涯の健康を目指す基礎づくり』
一子どもの運動とスポーツ障害一
- なお、本会では、新規事業として『性教育の手引き』(エイズを含めた)を発刊する予定で、昨年度から

編集委員会及び作成委員会を設置し、平成7年度末の完成に向けて作業を進めております。

特に、この手引きは平成元年に告示された学習指導要領を踏まえ、さらにエイズ教育を包含したもので、しかも学校現場の教師が活用しやすいもの、読んでみたくなるようなものを、という考え方で作成しているところです。

静岡県学校保健会の活動

静岡県学校保健会事務局 根本 榮

静岡県学校保健会は、県教育委員会体育保健課内に本部事務局を置き、義務制20地区と高等学校3地区の23地区学校保健会から組織されている。

地区学校保健会では、各地区の課題に応じた研修会、講演会、実技研修などをはじめ、小児成人病対策として、肥満教室を継続して開催する地区など、特色のある事業を推進している。

本会の最大事業である静岡県学校保健研究大会はこの地区学校保健会が中心となって、会場を持ち回りで開催している。本年は、第39回を迎えて「生涯にわたって健康に生きる力の育成」を目指して11月に奥浜名湖三ヶ日町で行われる。

当日は、「家庭・地域とともにすすめる健康教育」「一人一人の健康意識を高めるための養護教諭の取り組み」など地域に根差した実践発表が予定されている。

次に、本部事業のうち児童生徒が直接参加する事業を紹介したい。

① 中学校・高等学校生徒保健委員研究発表会

毎年12月に県内中学校・高等学校生徒保健委員を対象に、日ごろの研究活動について、その成果を発表しあい、今後なお一層の積極的な活動を促すとともに、各学校における生徒保健委員の資質向上を図ることを目的に実施している。

校種別に2日間にわたり行っているが、各学校の生徒の実態に基づく研究課題であり、しかも長期間にわたっての研究調査結果の内容は、充実した研究発表会として評価されている。

② 学校保健新聞(保健だより)コンクール

優れた学校保健新聞(保健だより)を発行した学校を表彰し、児童生徒・教職員・保護者の健康に対する関心を高めるとともに、学校保健活動の充実を目指したものである。作品は、児童生徒が編集した児童生徒の部と教職員の部とに分け、優秀作品は、広報誌を通して紹介している。

いじめ問題対策情報センターの設置

この 4 月から国立教育会館に「いじめ問題対策情報センター」が設置された。全国のいじめ問題に関する学校等の対処事例のデータベース、いじめ問題に関する児童相談所その他の諸機関に関するデータベース等を整備し、パソコン通信等を通じて全国の相談機関や学校関係者、保護者、児童・生徒等に対して必要な情報を提供するとともに、教育関係者のみならず、法律、医療、心理、少年補導、人権擁護、児童相談等の専門家による相談体制を整備し、児童・生徒、関係機関等からの相談に応じる体制づくりをし、いじめ問題解決に資しようということである。

ある 1 日、センターを訪問してみた。

センターの事業内容としては

- (1) いじめ問題に関する学校の対処事例等の情報の提供
- (2) 専門職員およびコンサルティングスタッフによる電話相談等の実施
- (3) アドバイザースタッフによる助言

が主なもので、すでに常勤の専門職員として、前小・中学校長・前養護教諭が相談業務に当たっておられ、手応え十分とみた。

情報の収集とデータベース化については、所定の様式に従って学校等の教育機関に係わる事例については各都道府県教育委員会に、警察庁、法務省、厚生省の機関に係わる事例については、所管の各省庁を通じ、収集を依頼中と聞いた。10 月に約 500 件の事例データ化を完了する予定という。

情報の利用については、パソコン通信ネットワークに加入している機関等が利用可能である。これらの整備と、利用のための P R が必要になってくる。

すでに始められた電話相談の受け付け状況と、センターの 8 人の専門家コンサルティングスタッフ（人権相談・児童福祉・少年補導の各専門家、カウンセラー、臨床心理士、精神科医、弁護士）による助言、委嘱されたアドバイザリースタッフ（臨床心理、教育心理、学校カウンセラー等の大学教授）による

「困難事例解決のための検討会や、いじめ問題研修会」等への助言講師派遣がスムーズになされれば、センターの機能が波及効果を生み、さらに効果的な進展が期待されるだろう。

先日発表された「スクールカウンセラー活用調査研究委託校（小 29 校、中 93 校、高 32 校計 154 校・2 年間）」の研究成果と相まって、「いじめ問題対策」が全国的な問題解決に発展するよう、わが学校保健関係者も大いに関心を持ち、教育相談の実際や解決策に協力を惜しまないことが大切ではないだろうか。本件照会先：国立教育会館（3 F）

☎(代表)03-3580-1251(事業課)

いじめ問題情報センター(国立教育会館 5 F)

☎03-3806-0078, 0076



保健室における相談活動の手引

財団法人日本学校保健会 刊

(財)日本学校保健会は、平成 7 年 3 月 31 日付をもって「保健室における相談活動の手引き」を発行した。

このことが 6 月下旬、相次いで N H K ラジオや全国新聞紙に取り上げられると、資料の問合せや購入方法について、学校保健会に電話が殺到し、事務局スタッフは嬉しい悲鳴を上げた。

すでに全国各校に配布されたことと思うが、折角の「手引書」が保健室や校長室に眠らない方法を考えていきたい。とくに「職員会議や校内研修会」等に積極的に活用し、討議されることを期待する。

子どもにとって、また保護者にとって心を開き、悩みを聞いてくれ、評価をしない保健室の先生。さらに相談技術を磨き、とくに担任と積極的に情報の交換をお願いしたい。そのことが今、学校の内外から望まれていることである。

(文責・松本國夫会報編集委員)

日本学校保健会だより

文部省体育局学校健康教育課人事異動 (平成7年7月)

石川 晋 大臣官房審議官(体育局担当)
→体育局主任体育官

錢谷真美 学校健康教育課長→体育局体育課長
北見耕一 総理府内閣総理大臣官房内政審議室審議

審議官→学校健康教育課長
→大臣官房審議官(体育局担当) 布村善彦
学校健康教育企画官→大臣官房企画官

平成7年度(財)日本学校保健会の役員

顧問	貞国 照	山口県医師会副会長
渋谷 敬三 元文部省体育局長	久米川 久夫 香川県学校保健会会長	
柳川 覚治 前参議院議員・元文部省体育局長	松田 一夫 (財)福岡県学校保健会会长	
関口 龍雄 元副会長	◎本吉 鼎三 川崎市学校保健会理事	
中山 正一 元副会長	津田 恵 北九州市学校保健会顧問	
小栗 一好 元専務理事	(職域より)	
加藤 増夫 前副会長	◎下田 巧 (財)東京都学校保健会副会长	
会長	◎江口 審寿 大学教授	
村瀬 敏郎 日本医師会会長	◎杉浦 稔日本医師会常任理事	
副会長	中谷 浩治 学校保健研究大会当年度開催県	
矢野 亨 日本医師会常任理事	佐野 七郎 学校保健連合会会长	
若林 明 大阪府医師会副会长	古賀 慶次郎 学校医(眼科医)	
西連寺 愛憲 日本学校歯科医会会长	小林 菊郁 生平 学校歯科医	
松尾 学 日本学校薬剤師会会长	◎中田 幸彦 学校薬剤師	
専務理事	◎種辻 澤和 学校薬剤師	
青木 宣昭 東京郎学校保健会専務理事	川久保 孝恵 小学校長	
理事 ◎印……常務理事	◎川島 忠雄 中学校長	
(加盟団体より)	◎壺井 雄子 前保健主事	
吉田 信 (財)北海道学校保健会会长	◎中村 道養 保育教諭	
師研 也 宮城県学校保健会会长	薄田 泰元 P.T.A.	
黒部 力夫 山梨県学校保健会理事	監事	
福井 光壽 東京都学校保健会会长	児玉 武伊知 学校医	
雪舟 下国 雄 神奈川県学校保健連合会常務理事	佐藤 裕一 学校歯科医	
船崎 嘉一 富山県学校保健会会长	中島 正次郎 学校薬剤師	
小坂 孝二 岐阜県学校保健会会长		
橋本 章男 兵庫県学校保健会会长		
有山 雄基 奈良県学校保健会会长		

「学校保健募金」協賛者ご芳名 (No.7)

(記載順は受付順: 平成7年3月31日~5月29日分)

吾哉樹子一男夫人二雄雄豊郎明健夫夫智之正康夫郎夫二和春文男已元修孜男朗雄樹鄉広一伸夫彦信夫治則治雄郎政勝矩弥知義一三夫隆郎夫仁子男吉平士太
 啓孝英淳亮隆道正哲俊富新康和三孝浩国修基真久雅昌俊克秀一義正玄雅圭茂邦肇敏一幸久武三利隆一義義秀秀章國道迪久多時宗司
 郡田野田木田尾田田田見村崎澤尾中田上口井山村井坂倉川田地田田西橋本川木嵐崎野谷田江川井岡田本腰林野田野後越沢水尾島伯伯嵐保
 西太西島土正黒平林菅寺藤万越川有堀鳴田永河出坂栗竹岩舟朝品澤浅金福小高松富海五島梅越渋池赤皆葉羽林徳塚宮館北宇吉平矢竹新清瀬宮佐佐五十丹
 之子己一明子浩雄子一喜人一忍健毅徹永勝也生子朗吉衛亮雄一隆夫世次汎郎徹滿功弘学一延二逸勝郎明三與雄正巧三也章宣隆博俊進芳功雄郎己郎
 裕潤康和八貞陽静憲利元龍益正達全小英健秀嘉哲康謙七了英直隆清進喜龍源義森正銳泰博弘茂重昭敏二克道
 倉田野崎本木川田澤野東倉崎桜川東東東本瀬島本井田井田元崎崎崎幡本坂野利尻川鳴田川辺野谷本山井澤田田田藤木達瀬野崎田上村柳木本地
 石岡水山松荒田山石平伊松寺高丸坂坂橋山川野山桃池杉金宮船寺樹大江宮松広毛野女高西高渡平国安中酒米廣林池村加佐安柳高山中瀧安高鈴江坂堀
 実茂彦彦七登彦輔夫之利行晴夫明一光祐夫吉三夫洋進昭雄人秀宏寛子治夫洋彦雄則子造寛夫武丸子岩郎一郎雄ニ子イ男夫夫孝晋子司治進子信子行一子
 季征銀正良祐邦正三信忠憲高忠重基輝榮泰隆光倫寿元明隆す昭武政達一陽吉和一昌一松喜一一健淳ヨ一信哲一富淳博和常邦正正かず
 森田田本下本田島渡山井井林井島浦木部田野日井沢木田田山谷田田取本川谷瀬西村野由松村沢村野川谷本藤木井沢井山本寺村本澤島沢尾橋谷田本
 小吉吉山山澤飯寺佐深谷島森小平中大松阿島立四福吉平松池小新山津鷹山近新成森浜北湯三鹿高新能中吉成出松斎酒長横北吉小杉蔵長北柿西高荒泉松
 次美一幸啓昌徹秋勝弘襄弘夫和子文郎信文哉男俊勇三助郎弘子彦昭純子子一子子子子惠昭子泰子三義次淳子院治己敏哉雄力男子治清夫芳久史衣工子治
 善恵正一友千和保嘉雅美二幸利龍忠之惠敬三澄邦徳宏輝靖憲桂佳江洋輝善浩輝真純正賢諒病賢直秀洋竹敬淳俊文清清ユ秀伸
 田保野倉口江川井沢田井原田木本中平浪藤田田岡本田木岡井田井田村本曾田井田川根上島井本上井之藤谷萬平橋田津代川川山崎場熊口平平谷
 西大越小野堀浅天中仲二藤山青山梶田兼野尾安米島関菱山杉大佐西沢吉沢前中堀木米吉增長元井豊藤杉宮龜宮江神釜紀高宝魚千堀女米寺稻小山奥
 敏侃豈三三臣之三司夫一夫利勇茂子子幸子美治雄行晴子司郎郎夫子哉次敬徳史郎二也宏理夫博義夫綱弘子也楠子一子子二夫英子規子郎博也子子枝雄
 雅照竜昌清隆元孝一謙和宗充工豊育寿章晴弘行和勝太十啓正政増參久恵吉正正嘉義徳靖彰京昭多慎照榮健嘉正麗正志助康正忠陽富信
 垣沢本田迫木野鳴内山田村下中口山村本山崎佐浜木橋下友合尾宅山条木谷田端田十田田下宅中屋田垣野爪新浦川野野井田川舟池良新木林崎田
 竹野杉前大佐新磯中南船遠寺谷山田山中上林蔽西岡坪大高中木大河吉新三北八井藤川岸八門山古三田権豊太佐橋才南三吉覺敷高津西浮蓮相才高若岡梅
 子壽夫明枝浩雄一雄一治夫博郎祐勇郎子雄治進男男薰子猷子潔夫美子良夫夫子司治郎雄美一雄毅美治子郎子子藏夫博信輝文子男良敏敏介彰二一保彦則
 節幸嵯晴静伸久宏敏裕伸和久久太武絹幸蒸正文ふ綏満英雅美忠利辰裕隆昌一佐一諱和和敬昭彌早浩輝澄正正美美豊武忠正俊安濟儀義
 野崎藤谷田谷田塚原川原島浪原井村川名西多西田田東井泉上本田弓村脇西山本谷本井中見川泉西木本川江木本島口川岡山川岡田本駒波上
 清水高良真康隆一三義良病清宣秀隆啓昭根恵克ニ順義立司邦康光一治當敏重武教洋貞藤邦浩重慎桂一登恒俊好千嘉哲藤美泰佐益和
 会長宣吉木敷野畠元井谷川本山風辻烟笠園本田上宮科内下田藤川納井村谷藤田本井内西松本庄月瀬科本下尾村本田田村本中井村井田本田澤
 PTA立佐中川野吉神林松丸南尾川今森徐塚柴山三服杉山加中加福中黒伊川塚森岡前小黒西堤石染望石保阪木松杉倉家吉山西寺安野阪田藤木福前倉高辻

さみさと小学校	草島小学校	大門小学校	砺波市立	伏木中学校	ふるさと
入善町立	倉垣小学校	浅井小学校	出町小学校	五位中学校	養護学校
黒東小学校	吳羽小学校	櫛田小学校	庄南小学校	中田中学校	高志養護学校
飯野小学校	長岡小学校	大島町立	砺波東部小学校	牧野中学校	しらとり
上青小学校	寒江小学校	大島小学校	砺波北部小学校	水見市立	養護学校
入善小学校	老田小学校	下村立	砺波南部小学校	北部中学校	しらとり養護
横山小学校	古沢小学校	新湊市立	庄東小学校	西部中学校	セーナー苑分校
鶴山小学校	池多小学校	放生津小学校	鷺栖小学校	十三中学校	にいかわ
舟見小学校	愛宕小学校	新湊小学校	井波町立	八代中学校	養護学校
野中小学校	桜谷小学校	中伏木小学校	井波町立	小矢部市立	となみ養護学校
宇奈月町立	五福小学校	作道小学校	庄川町立	石動中学校	となみ養護
下立小学校	奥田小学校	片口小学校	井口村立	津沢中学校	砺波学園分校
宇奈月小学校	奥田北小学校	堀岡小学校	井口小学校	砺波市立	一陽吉 和
浦山小学校	神明小学校	東明小学校	利賀村立	出町中学校	一昌一松喜一
愛原小学校	新庄小学校	塚原小学校	利賀小学校	庄西中学校	健淳ヨ一信哲
黒部市立	生地小学校	浜黒崎小学校	坂上小学校	般若中学校	一富淳博 和常邦正
東布施小学校	大広田小学校	大広田小学校	城端町立	井波町立	か裕潤康和 八 貞陽静
石田小学校	水橋中部小学校	国吉小学校	城端小学校	井波中学校	竹敬淳 俊
村椿小学校	水橋西部小学校	東五位小学校	平村立	城端町立	文清清ユ秀伸
中央小学校	上条小学校	石堤小学校	下梨小学校	福野町立	季征銀正良
三日市小学校	続曲輪小学校	西広谷小学校	東中江小学校	福野中学校	
前沢小学校	西田地方小学校	博労小学校	福野町立	富山県立	
荻生小学校	星井町小学校	西条小学校	入善町立	泊 高等学校	
若栗小学校	五番町小学校	二塚小学校	入善中学校	桜井高等学校	
魚津市立	八人町小学校	千鳥丘小学校	入善西中学校	魚津高等学校	
大町小学校	柳町小学校	木津小学校	舟見中学校組合立	魚津工業高校	
村木小学校	清水町小学校	成美小学校	舟見中学校	新川女子高校	
住吉小学校	安野屋小学校	川原小学校	宇奈月町立	新川高等学校	
上中島小学校	東部小学校	牧野小学校	宇奈月町立	滑川高等学校	
松倉小学校	太田小学校	定塚小学校	黒部市立	市上高等学校	
小野方小学校	堀川小学校	平米小学校	鷹施中学校	雄山高等学校	
本江小学校	蜷川小学校	下関小学校	高志野中学校	水橋高等学校	
片貝小学校	熊野小学校	野村小学校	桜井中学校	富山北部高校	
吉島小学校	月岡小学校	伏木小学校	魚津市立	富山女子高校	
道下小学校	新保小学校	古府小学校	西部中学校	富山南部高校	
経田小学校	大沢野町立	能町小学校	上市町立	富山中部高校	
西布施小学校	坪野小学校	太田小学校	上市中学校	富山工業高校	
滑川市立	寺家小学校	南条小学校	立山町立	雄山中学校	
田中小学校	大沢野小学校	戸出東部小学校	立山町立	上東中学校	
東部小学校	大久保小学校	戸出西部小学校	舟橋村立	舟橋中学校	
北加積小学校	船岡小学校	中田小学校	大沢野町立	大沢野中学校	
東加積小学校	上滝小学校	水見市立	大山町立	大山中学校	
西部小学校	大庄小学校	朝日小学校	上滝中学校	富山市立	
南小学校	福沢小学校	余川小学校	富山市立	芝園中学校	
上市町立	小見川小学校	一剣小学校	加納小学校	堀川中学校	
相ノ木小学校	山田町立	上余川小学校	稲積小学校	南部中学校	
上市中央小学校	速星小学校	八代小学校	余川小学校	新庄中学校	
南加積小学校	鶴坂小学校	角間小学校	奥田中学校	奥田中学校	
宮川小学校	朝日小学校	宮田小学校	三成中学校	三成中学校	
白萩西部小学校	宮野小学校	窪小学校	藤ノ木中学校	藤ノ木中学校	
白萩南部小学校	古里小学校	湖南小学校	婦中町立	速星中学校	
陽南小学校	神保小学校	仏生寺小学校	城山中学校	城山中学校	
立山町立	音川小学校	十二町小学校	音川中学校	音川中学校	
立山北部小学校	山田村立	明和小学校	山田村立	山田中学校	
立山中央小学校	八尾町立	久目小学校	八尾町立	山田中学校	
高野小学校	八尾小学校	赤毛小学校	八尾中学校	大門町大島町	
利田小学校	杉原小学校	阿尾小学校	杉原中学校	中学校組合	
日中上野小学校	保内小学校	蔽田小学校	大門中学校	大門中学校	
新瀬戸小学校	室牧小学校	女良小学校	新湊市立	余古中学校	
谷口小学校	櫻尾小学校	宇波小学校	新湊市立	新湊西部中学校	
釜ヶ瀬小学校	下笠原小学校	速川小学校	新湊市立	新湊南部中学校	
立山小学校	野積小学校	舟橋村立	新湊市立	射北中学校	
立山声崎小学校	広畑小学校	小杉小学校	高岡市立	高陵中学校	
舟橋村立	仁歩小学校	小杉小学校	高岡市立	高岡西部中学校	
舟橋小学校	小杉小学校	橋下条小学校	高岡市立	南星中学校	
富山市立	橋下条小学校	金山小学校	高岡市立	芳野中学校	
岩瀬小学校	歌の森小学校	太閤山小学校	福岡町立	富山ろう学校	
豊田小学校	太閤山小学校	大門町立	福岡町立	富山養護学校	
萩浦小学校	大門町立	測ヶ谷小学校	測ヶ谷小学校	高岡養護学校	
四方小学校					

育ちざかりのひと粒!

歯・骨を丈夫に……



ゼリー状ドロップ剤

カワイ肝油ドロップ

河合製薬株式会社

東京都中野区新井2丁目51番8号



アウトソール ミッドソール 中敷
(ラバー) (衝撃吸収材) ースポンジ)

三層式ソール

JES(呼吸・吸圧)シューズ

JESに学問を!

科学された教育JES(吸圧)シューズ!

日本教育シューズ協議会 TEL(086)272-5463
FAX(086)273-9439

応急用酸素吸入器

オーツー O₂パックA型

- 医療用具承認番号(62B)第519号(医家向および家庭向)
- 標準小売価格/9,800円(税別)
- 本体サイズ 径90mm×高さ250mm
- 本体重量 900g
- 使用時間 12分(1回限り使い捨て)
- 酸素流出量 3.0ℓ/分
- 酸素総流出量 36ℓ以上

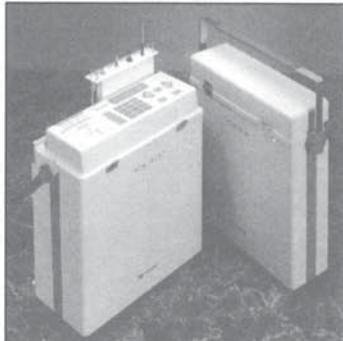


緊急の呼吸困難に備える
学校の常備品です。

ブルー・運動時における
突然の呼吸困難時に——

カタログ御請求下さい

M ミドリ安全株式会社
本社/東京都渋谷区広尾5-4-3 〒150
電話/東京03(3449)9902
キューキューオーツー



空気環境測定器 YEDP YZ-157

温度・湿度・気流・浮遊粉塵・一酸化炭素・二酸化炭素

校舎の空気環境測定は

ワンタッチ、1分間で!

YSRM

株式会社 ヤザキ エス・アール・エム
〒140 東京都品川区南大井3-24-13
EBUCHIビル6F
TEL.03-3766-8811 FAX.03-3766-8812

テクノレント株式会社
〒140 東京都品川区勝島1-5-21
東神ビル5F
TEL.03-5762-3311(大代表) FAX.03-5762-3322



学童の集団検尿に、
エームス尿検査試験紙。

エームス尿検査試験紙

ネフロスティックス®-L

体外診断用医薬品

ames

バイエル・三共株式会社
東京都中央区築地6丁目19番20号
販売元:

三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3丁目5番1号 〒103-0035 03-35255-7111
JU1694-S